



## 2021年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年12月14日

上場会社名 株式会社Macbee Planet 上場取引所 東  
 コード番号 7095 URL https://macbee-planet.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小嶋雄介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 千葉知裕 (TEL) 03(3406)8858  
 四半期報告書提出予定日 2020年12月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (決算説明動画配信予定 )

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年4月期第2四半期の業績 (2020年5月1日~2020年10月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第2四半期	4,092	12.3	335	2.9	335	3.2	240	9.0
2020年4月期第2四半期	3,643	—	326	—	324	—	220	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年4月期第2四半期	76.96		71.50					
2020年4月期第2四半期	83.64		—					

(注) 2020年4月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高があります  
 が、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年4月期第2四半期	2,764	1,579	57.1
2020年4月期	2,316	1,331	57.5

(参考) 自己資本 2021年4月期第2四半期 1,579百万円 2020年4月期 1,330百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年4月期	—	0.00	—	—	—
2021年4月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年4月期の業績予想 (2020年5月1日~2021年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	12.9	400	6.9	399	9.7	276	4.7	88.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年4月期2Q	3,190,900株	2020年4月期	3,097,900株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年4月期2Q	46株	2020年4月期	—株
------------	-----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年4月期2Q	3,126,865株	2020年4月期2Q	2,640,000株
------------	------------	------------	------------

2019年11月15日開催の取締役会決議により、2019年12月14日付で普通株式1株につき1,500株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetにて同日に開示しております。また、当社ウェブサイトにて同日に掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け依然として厳しい状況にあるものの、各種政策の効果や経済活動の段階的な再開に伴って、持ち直しの動きが続くことが期待されております。

そのような状況の中、当社が事業展開を行う国内インターネット関連市場におきましては、スマートフォンやタブレット端末をはじめとするインターネット利用端末の多様化等により、インターネット利用人口は2019年の1年間で13歳～69歳の各年齢階層において9割を超えて利用される状況となり、人口普及率は89.8%と高い水準を維持しております。また、FacebookやTwitter、LINEに代表されるソーシャルネットワーキングサービスの普及率は個人で69.0%（前年比9.0%増）と上昇を続けております。消費者がインターネット及びスマートフォンを利用する時間の拡大とともに、インターネットやスマートフォンに関連したサービスは更なる市場拡大が期待されております。

（注）数値は総務省「令和元年通信利用動向調査」より引用しております。

こうした環境のもと、当社は、新規取引先の開拓やプロダクトの開発に力を入れ、事業拡大に向けた取り組みを進めてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の経営成績につきましては、売上高4,092,526千円（前年同期比12.3%増）、営業利益335,625千円（同2.9%増）、経常利益335,208千円（同3.2%増）、四半期純利益240,643千円（同9.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（アナリティクスコンサルティング事業）

当セグメントにおきましては、既存案件の拡大や新規案件の受注が堅調に推移したことにより、売上高は3,939,627千円（前年同期比9.8%増）となった一方、売上原価の増加によりセグメント利益は425,222千円（同14.9%減）となりました。

（マーケティングテクノロジー事業）

当セグメントにおきましては、Robee※1の新規導入先が堅調に推移したことにより、売上高は152,898千円（前年同期比182.9%増）、セグメント利益は、97,078千円（同390.7%増）となりました。

※1 Robee…当社が展開するWeb接客ツールの呼称。データ解析と機械学習により、消費者のLPへの流入経路、行動パターンを収集し、消費者行動を予測することで、成果につながるマーケティングを実施しております。

### (2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比較して448,564千円増加し、2,764,966千円となりました。その主な要因は、売掛金が283,778千円増加したことに加え、現金及び預金が141,786千円増加したことによるものです。

（負債）

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比較して200,478千円増加し、1,185,697千円となりました。その主な要因は、買掛金が289,638千円増加の一方、その他の流動負債が57,236千円減少したことによるものです。

（純資産）

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末と比較して248,085千円増加し、1,579,269千円となりました。その主な要因は、四半期純利益を240,643千円計上したことによるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月期の業績予想につきましては、2021年4月まで新型コロナウイルス感染症の影響が継続するとの仮定に基づいて算定しており、2020年9月10日の「2021年4月期 第1四半期決算短信」で公表した通期の業績予想から変更はありません。

今後、業績予想の見直しの必要性が生じた場合は、速やかに「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,370,119	1,511,905
売掛金	825,729	1,109,508
その他	16,575	27,268
貸倒引当金	△4,782	—
流動資産合計	2,207,642	2,648,681
固定資産		
有形固定資産	20,112	16,022
無形固定資産	27,620	41,423
投資その他の資産	61,027	58,839
固定資産合計	108,760	116,284
資産合計	2,316,402	2,764,966

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	566,637	856,275
1年内返済予定の長期借入金	104,864	68,004
未払法人税等	100,237	90,618
その他	164,832	107,595
流動負債合計	936,570	1,122,493
固定負債		
長期借入金	48,648	63,204
固定負債合計	48,648	63,204
負債合計	985,218	1,185,697
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	394,260	398,148
資本剰余金	385,460	389,348
利益剰余金	551,085	791,728
自己株式	—	△207
株主資本合計	1,330,806	1,579,017
新株予約権	378	252
純資産合計	1,331,184	1,579,269
負債純資産合計	2,316,402	2,764,966

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)
売上高	3,643,196	4,092,526
売上原価	3,003,461	3,413,265
売上総利益	639,735	679,261
販売費及び一般管理費	313,704	343,635
営業利益	326,031	335,625
営業外収益		
受取利息	2	5
助成金収入	475	—
その他	18	—
営業外収益合計	496	5
営業外費用		
支払利息	1,807	408
その他	38	13
営業外費用合計	1,846	422
経常利益	324,681	335,208
特別損失		
事務所閉鎖損失	—	3,664
固定資産除却損	—	281
特別損失合計	—	3,945
税引前四半期純利益	324,681	331,262
法人税等	103,869	90,619
四半期純利益	220,812	240,643

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	324,681	331,262
減価償却費	3,526	5,202
事務所閉鎖損失	—	3,664
固定資産除却損	—	281
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	147	△4,782
受取利息及び受取配当金	△2	△5
支払利息	1,807	408
売上債権の増減額 (△は増加)	△33,450	△283,778
仕入債務の増減額 (△は減少)	△109,347	289,638
その他	△34,932	△68,107
小計	152,430	273,784
利息及び配当金の受取額	2	5
利息の支払額	△1,807	△408
法人税等の支払額	△42,433	△100,238
営業活動によるキャッシュ・フロー	108,192	173,142
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,885	△447
無形固定資産の取得による支出	△9,164	△17,490
その他	5,025	1,444
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,024	△16,494
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150,000	—
長期借入れによる収入	—	50,000
長期借入金の返済による支出	△81,466	△72,304
株式の発行による収入	—	7,650
自己株式の取得による支出	—	△207
財務活動によるキャッシュ・フロー	68,534	△14,861
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	170,701	141,786
現金及び現金同等物の期首残高	566,385	1,370,119
現金及び現金同等物の四半期末残高	737,087	1,511,905

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	合計 (注2)
	アナリティクス コンサルティング 事業	マーケティング テクノロジー事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,589,154	54,041	3,643,196	—	3,643,196
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,589,154	54,041	3,643,196	—	3,643,196
セグメント利益	499,500	19,782	519,282	△193,251	326,031

(注)1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期累計期間(自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	合計 (注2)
	アナリティクス コンサルティング 事業	マーケティング テクノロジー事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,939,627	152,898	4,092,526	—	4,092,526
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,939,627	152,898	4,092,526	—	4,092,526
セグメント利益	425,222	97,078	522,300	△186,675	335,625

(注)1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。